

安芸太田町版 マンダラ

自然の恩恵を実感し続けるまち

ありたい姿

高齢者から若者まで多世代が
支え合う、暮らし続けられる
まちが実現する

自然資源・文化資源が次世代
に継承され、暮らしと観光が
共存する地域として確立する

地域のコミュニティが再構築
され、人の交流そのものがま
ちの魅力として定着する

まちなりわいが継承・再生
し、多世代が関われる働き方
が地域に根づいていく

成果

子ども・若者・子育て世帯・
外部人材の参画が増加

自然・文化・歴史などの価値が
発信されている

世代を超えた交流が
徐々に生まれつつある

定期的に活動する新しい担い手
が生まれてきている

取り組み

森のようちえん（幼児期から
外遊びなどの習慣化）

棚田保全（草刈り・石垣整備
など）

地域行事・マルシェ・季節
イベントの開催

地域製品の加工及び商品開発

子育てや福祉関連など
相談の場づくり

山・川・湖・森林などを
活用した自然体験活動

多世代が定期的に集い対話を
重ねることのできる場づくり

定期的な養成講座実施による
里山ガイドの育成

地域資源

地域を知り尽くしている方々
の知恵や経験

三段峡や恐羅漢などの四季を
感じることもできる名勝地

地域に根付いているネットワーク

地域住民の経験を活かした技術

身近に外遊びが出来る環境

地域それぞれにおける
伝統行事や伝統文化

空き家など現状活用されていな
い各施設

中高生や若者等の
時代に適応したアイデア

地域課題

外遊びなど出来る環境を
十分に活かしきれていない

棚田などの景観・伝統文化の
継承などが困難

コミュニティの再構築が必要

なりわい・働く場の減少

移住希望者等に即時対応する
ことができる住宅

関係人口の創出に繋がる
仕組みづくりが弱い

世代を超えた関係性が希薄に
なっている

地域における仕事や役割が
見えずらい

様々な世代における
移動手段の確保

地域資源の価値というものを
認識されていない

人々が集い交流できる拠点が
限られている

若者の挑戦する機会の不足

暮らしと子育て

自然と文化

場と関係

人と仕事

地域版マンダラ

活動地域：広島県安芸太田町

作成者（団体名）：特定非営利活動法人広島横川スポーツ・カルチャークラブ

作成日：2026. 2. 20

※更新バージョン等の情報は適宜追加